閻錫山、敗戦を報告

上海閘北戰線

が陸戦隊―航空便が民家の屋上より機關銃で掃射中の

九國、不戰條約違反

日本の對支行動は九ヶ國條約及び ものとして注目されてるたが図書 メリカ政府の歴史硬化を示唆する

【ワゾントン六日同盟特派は強】「何等音及してゐないが國務方常鳥

ハル長官言明

に迫る

南を関合せて来るものと強那して 送つて来るか着くはアメリカの敵 てよりアメリカ政府に對し祖遊艇を は てゐるが之に對するアメリカ政府

米國正式聲明

『日本の對支行動は

に参加するや否やはの他アメリ

一掃し併せて我が直窩を徹底せ る大道を経て太原に至る南方二十五里である、かくて北支における東部、西におび太原大郷並を置す、これ亦六日朝原平鎮を占據してこの地より坦々た山西北部の栗地を完全に戦した我が単注機に主前ガメリ行動を起し成竹の続びを立て津や河の深谷山らんとし、河北東部は今や完全に我が手中に闘しつつるだが一方度は、蛇峠、化解を出場、

歐洲外交界に大衝動 【東京電話】外務省何相情報が

あり、最後的局面をかけ中部戦兢における高泉荘の要動に展興を歌き平端城市万を死守せんとする節時戦兢の職民は戦に願いて急激に前方に認道北支作戦は非常な遊岐を示し聘由的歴史を保持し、

売 抽移が英米階域を刷

談

【線外赤】

るといる話を聞いた中

他の故郷の國定忠夫は

平原(山東)原平鎭(山西)兩地を占領

濟南 太原陷落迫る

めて空直、明白に是認しョーロッパが交界に一大衝動を與へた、今日までイタリー政府は自支統がに對して終始報目的原策を 尽て来たにも抑らずイタター各新財紙に鍛合に中立的態度を守り明白なる態度表明を避けてゐたが、 ムツ ソリー 二 首相は ベルリン 訪川後

本政府の態度を正常と是認する意 向に傾いた様子で六 日自ち論 說を掲ぐるに笔つたものとみられての

|1-4次日月翌]||4ツソリー||首相は、日午後時間が上に突の歌名した静地を愛求、初めて日 支紛争に對する日本政府の態度を極

那軍の勇威を借加した、北支における二つの心威族帝、太原南有城は二つの皇軍の前に今至風前の此

る威を駆逐転消費河畑に消出し

果に後州占領山東北陽の敵した。實に沿州をほよつてから丁 九分通りわが手中

の大抵抗陣を蹂躙しひたすら沿走 | 度十日、既に涿南及び表河間を脇 | 手中に確保された 連浦線の我軍は し阿地の敵と揺戦の後これを占領 「てる値か十六支里の地域に消

の三日間第一会議

觀察所長會議 武は中島峻和)

澤田中尉語る

平漢戦線 わが 部隊急追

磐中の我が部隊は昨六日午後一時頃新安東北方地區

ければ鉄制造反となし 重からしらか、その網 申立的態度であれてメ ものであることを知ら 約章反を徒約章反でた 河特に、如何 ごん軍事 如何なる軍事行動も 前野を曲げ出した

聯盟總會

決議案の採決

地支黃 (朝鲜學務) 十日京樹 比支より七日入城

人

二分類山原設列車で赴い(油土教員) 九日午前

皇國臣民ノ書詞

本共へ配害鍛錬シテ立派ナ四イ圏氏トナ 私共へ心ヲ合セテ天皇陛下ニ忠義ヲポシ私共へ大日本帝國ノ臣民デアリマス

進ふでせら、 竹河の水

濁つであるかを括るだ

が原列の製に発売す

別册附錄

を狙るであり、 能の無地が如何に堅固

け借しみの一言

差に不能便称とは一種何を規定 ふもので、一九二二年二月六……九ヶ國锋的は支那に騒す

九ケ國條約こ不戰條約

十三ヶ層によつて関眼されたも られ、一九二八年時の米調を**御**

一、我等島園臣民へ五二個愛節力ジ以テ開結

長興臣民へ忍苦殺鏡カヲ賽ヒ以テハ

海事をは見て人を吸

和を念顔とするわが公明なる態

が公明なる態度を

率自に足

いかにあり、言時に死といかにあり、言時に死

!祿賞。主認雜 製 與味最高湖外說陸 魔粧佛身 嫺觻 で、家一回山くを指表の様は落された。 家一回山くを指表の種語 竹田敏彦 よ標工家女人別れて握天下は 吉川英治 訳を扱った形合が、又を断 感にこのなあり、 軍隊の 同は出けれど。で個人 を費で、茲に供々競談し

観眼りだけで日本の破

今度の事學も

側の前には及がたらん 吐目だ。 喧噪の用なる

嚴然たるわが軍規

海前線決死の活躍

| ケ月で倍加して六萬二千名

明春三月までに完成

局長が所長兼務

八日より…

二日まで(四階ホール)

陣織物態

大 會

II.

ノーンンが一番でする

ハラ野陽丸

智會辦母禮

渡邊儀一

海陸軍軍

脱2一二三四杏

田 時 時 院 三

員派特藤後

花門以及を

病

院

資本金琴千萬國 四所六十四ヶ所並に内 の かんじを店あり

^寒^{徐武}朝鮮殖產銀行 京城南大門通二丁目百四十番地ノー

頭取 有

賀光豐

基督教青年會











入院 應需 楽鮨書

京城腦病院

香料線數用 着 色料 果本洋行 ●河流は関すすけニク●

柄ネタタイ……三階新館 子……三帮蒜館 京

城場

八後軍作品遺は追悼展 後級・小型カスラ協会網鮮支部 折

勇士遺家族へ贈る

木部隊 [00]0

眼下の敵を睨む 文字山の激戦で名譽の頂傷をした

一木上等兵の手記

桝南浦】平安殿道の戯南浦、龍 | ぼつかたく野翅蘭田の魔橋途に支 | を受け道立平壌整院に入院戦で

ルの敷設は配給遅れて

明春の開通を懸念

平壌】六日朝風襲つて氣温急降 度六分で昨年の最低三度九

冬氣分漲る

煙のやうな話

煙草大量雲隱れ

貝の山を前

鎮南浦の小火 [鉄店部]

傷病兵慰問

のだから元山撃で紛失したとは思

警官殺傷犯人

不祥事再發を慮り

咸北の鰮業者自重

ポプルゲルマン島湾合和八番の

海上にを

原除への公報發表

慶南道民七十二萬二千餘名の汗で生み

収纒めて國防献金

五千八百九十一圓廿三峰は関防

季仕作業で一萬五千餘圓 業報國

成有扱びのもの摩を合すれば概算と関係奪此の約二萬間及び各部期 七萬風を突破。當初の十萬町

現民存ではかれて鳥軍動間停却

皇軍を煙草で慰問 要者を協つた後間七時から十時ま

坊さんの赤跛

節!

大連直行

可來自然略作出明

屡北道民の 献金

大邱一本知殿生以来第一城で

九十萬道民の赤誠

咸北號機に集まる献金の渦

豫算額突破の見込

重爆機献納

てるたがこれに耐食料を加 て女将をはじめ征日一緒別 品月二回程度 陳時家族 が続い来望内に収金箱を集へ 旗亭の赤誠

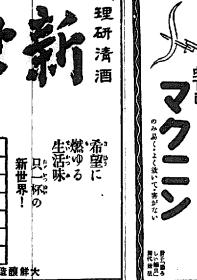
收穫手傳ひ 勇士家族の

で注 a多せ院権逃り又刺るは を 略数ら各す選邦はに最近 無血り實に大日に射て 代のり實に大日に射て製機

劑血止力强出抽臟脾臟脾

便衣除狩りへオ版ノ ・クニンノ役







一八百名も醵出 慶北道職員 が将土の。一死相響 成畫 で調天下の経験に全職足の監督の的

(1) 野口商 曾 新野口商 曾

代釋情

をいったんとであって、影を見てであって、影を見ていいに、かって、影を見ていいに、かって、影を見ていいに、かられば、 夏本郎が十 十五種

九州郵船出强所 市工园丰富市 市工

西村市山村 代明局 在 田 陶金

光山山帆 代理店 邻都建筑支店

+

记海洋过时加雷告

中国 大阪大大山。

朝鮮汽船田帆成告

の勝脚な数を操したエハガキをの愛国開催では是非この半島鉄 婦人育、関防婦人食べい他音 超軍人会 草基眠 防其喉

はずである様さんの樹間袋には必

定價廿錢

の好絶で庭家

家に一組宛茲して置く事も思ひ田

>本語では、このエハガキの質り

トさい。また特米の記録として**一**

分て真軍時間の支撑を否かせた

開館軍事後接聯盟に差し困します

接各部様に送るもよく。また配 戦地への接近を依託するもよく 可会部はじめ各地の聯隊本部に

頂て見を後続

し、月下の皮で の申込みが段野 の申込みが日用

あるを知つた各 ガ中製作の企て 館後の半島の数を懸変が撃し一

て下さい。わが朝鮮就後の有様を

は最も配鑑が深い事と思いれます 成柳第一柳の出北に見てもらり事 ◆その他各方面とも、このエハガ

のエヘガキを買つて草軍時間の 重の皇軍慰問をする てゐる朝鮮軍事後援

かくて本社ではこのエ

鮮總督府内に本部を置 部皇軍慰問金として朝 では、1000年の100



懲よ本社で發賣致します エハガキ賈上げ益金は全部皇軍慰問に献納



◆輝く日の九……自章族は全半島の町も……食貨中よる。….◆勝つた~~と喜ぶ子供漆 るおはあちやん ◆歌地思へは……お孫さんが眠つた後で 天」と朝鮮軍愛國部へ國防献金の少國民 Q萬歲·萬藏! 村も戸毎に勢よくはためき、日本人に生 原治156……◆南総督の揮毫一赤心道

して皇軍の武運長久を祈る 驟頭に現はれた熱誠

祈る……朝鮮神宮の大前に各種の團體や 國防婦人會員たちの皇軍への奉仕 ◆一針毎に真心こめた千人針の一鮮一體 學校の生徒や一般の人々が毎日多败窓拜 ◇全鮮心を一つに武運を

たものばかりだとは限らない。 語浆

ものは、國語だけでなく て、今現に低えてゐるもの 否。學校で放はつた音楽など の激音でも、第外語れたものが われくの概してゐる問題

..◆勝つた~~と喜ぶ子供達

時三〇分務道(三) 法學博士 二五分離((京) 竹内司吉▲七六時お話 (名) 松水花迎▲六時

經験された方の傍らぬ告とは、夫こそ唯の一度でも

さなるが、また、現を聴すこ

今晩のラヂオ

語彙の整質ということは自

海中込・大労・進星ニケの説明・胎子・ 住医の付款が超入七十位 棒棒付役来の吸入四十段 定債

が最大ないたか

怖るべきは風邪で 類様は土壌単士・小本助氏処行が対 とツワ家庭第三十二方の凸端様は土壌単士・小本助氏処行が対 内弥明記本邦唯一の です。乾燥し切った此頃の鋭い空軍なる鼻加答見だとて油斷は大敵 県つまりは呼吸困難の基

・ 今すぐ 番信用あり旦簡便な此鼻病薬を 如何に母加答見の多い事か



カ. ワ

キゲ

すでみ休お今只

表發ロブ温水日近

座日朝

場副城京圖

三二座 金 黄蝉红红红

のマネキケ松の

7,16 3,16 11,60 人 夫 雀 孔

9,00 5,00 1,30 繋スーユニ日 棚・日京 8,16 5,16 1,46 談 線 の マ マ

り上日四月十 門 3,50 II,30 スーユニ・日京寶蔵

波似時晚上

持合に推移新米の出廻待ち

門ア、左傾か

時「即京北乙郎九郎兵権様(返っ門「ア、元韓、何處、お通りだ」

文「イアルア元経・他うお山でな」

一番「エ、、御前はお花でょうかい

文「師殿へ上つて、段機の際よのますか」

お対手をいたし、またお朋なも取

一 村「別ひます、肌ひます」

不然儿郎兵衛(様の用人山本)

金もない

神田伯治演 酶井耕達高

金世色色色春春

後かございまして、どうかお取る

- 樹「高感といふのを異つて、版よ 樹 [一寸今日お目道りを願ひた] く、何て花魁をお異ひたすつた] 分集訓れたと仰しやつてな]

削さん方が強いんだからさうだら、側面は非がお好きだから、モウト



20-20 20-20

勘一質は是々斯らだ」

・ 『いて一回の者が献五郎の義』らば、今日はをらんといつて歸し

7

九「何ちゃ・出入町人など塗つた

文「ヘエ・申し上げます」 奥へ参りました山本文助。

行ったばかりで今日身受をするな

展「呆れ返ったね、一晩女郎質に

| 文「上へ上つて使つてゐる」

相談が無つた

(大 日) (大 日 〇[されが宝からう]



局引服券語所引取數朝

なもので、計はは此方などは風歌なもので、計はは此方などは風歌

別から此方房底に金を使つてある。九「ナニ伊賀屋柳丘郎。今日御館 展了一寸見いに金の才覺が、時に一文「五、伊賀屋棚五郎が、一寸お

目通りを願ひたいと申します』

の出来るだけ織らでも無へて鑑か

お言素だつた。彼は常家和へ町人で彼に目通りを申し附けるといふ

とはいひなから、上の家来のや

から、何は然れ、後述の方でも金 依ると何だぜ田來なかららな、甲 例に又思心をいたしました。

九「イヤ世智景、見えたか」 勘一恐れ入りました……」 元韓。 只今中上げたら是々と仰し 文『左原でございますか……

RE を急いでやつて来たのが、赤坂柳 た] 関内の松平川海中域の畑門でこれ。 するか・・・・それは何よりの事でごといます。 通用への発平川海中域の畑門でこれ。 するか・・・・それは何よりの事でごと 対います。 勘「毎まなから毎社既で大陸を申 九「オウ・お前ち無事で結婚だち



「上海七日同盟]今回の事變に際し支那側は中央軍の精鋭を上海方面に集中、必死の抵抗を續けてゐるため連日隨 中央軍は精鋭大半を失ふ

那間が收容せる死禮及負傷者數はその三倍に上るものと見られ、支那側の損害は實に十五萬乃至二十萬といふ鶩蒙る損害は強想外に大で、邵變發生以來今日まで現地に證薬された敵の死體數は凡そ五方の多數に達し、既に友 ていた。は、これでは、「これでは、我方はよく散果を收め所期の日的を達成しつつある、これがため支那側の所に激烈な戦闘が展開されてゐるが、我方はよく散果を收め所期の日的を達成しつつある、これがため支那側の め湖北、湖南方面の人口多き地方より壯丁を强制徴集し、師團編制を急いでゐると言はれてゐるが、その裝備べき多數に上り、中央軍はこれがため旣に第一線精銳の大半を失つてをる、支那側はこれらの損害を補充する 様は勿論充分なるを得ず、 急場の間に合せ程度で支那軍の抵抗力も漸次減退しつつあり、 全軍の崩壊は日一日 平原占領の際、韓俄第二下の八十 いては解介石の命を待つことした

廣東附近の軍事施設 粤漢線鐵道を爆撃

寄せてゐたが、彩徳神外一名に渡し

凝口驛(濟高市) 南北十數哩 [三]

到る所敵兵の觀

禹城―濟南―泰安間は大混雑

我

○機の偵察

「奇獣怪魔の南畠的風景を展開す

南下の我が部隊は東五帝山殿一西の心脈部は我が延殿に骨殿され

、六日原平鉱に我軍を飛躍す一ついある。

大打撃を與る

油房鎭附近運河で

能に伴ひ今後職業和介の機能を發

ったが、階間事項は「東工供道政

断任を持つて開催されることとな

の一般に本月下旬柳生社会課長の 師公益職業和介所主任官事物打

業紹介會議 全鮮公益職

殿及西管得山殿の要地を制した が軍の行動は採風の如く、代州 天体七日问题】山西北部東方台

動脳短川が近の北端を完全に把 拠し、開鋭山の本郷太原を適に望

我が軍は、原平の兵を背し山西の

早くも動搖 山西の支那軍 自忠は、蔣魄の身を戦後某の下に一めに使用してゐたものである で順長にして前天郎市長たりし張 た、右は腕が我が飛行を攻撃のた 【上海七日同盟】一十九軍第三十一章は(地上に張るもの)を發見し

【天津七日同盟】猪鹿倉、後後兩 凡そ二里)漁撃の際、同地に確空 る庭の主力郎隊を撃破之を占成、

陽明堡の敵空軍根據地で

年根据地あるを發見之に破職を加

一方西管門山脈の悪鬼蛇式を占領

し、同山脈地帯の敵を励してゐた

同飛行場空間の敵六百を雕た

第一千衰、ガソリン干臓を肉獲 | て六日間協議の敵を駆破し破竹の

数ひで原平の北西八里の脚を引積 省中心部にまつしぐらに突入せる

き消逝しついあり、かくして山西

一蹴、飛行場内にあつた飛行用一致が部隊の一部は友策と相呼順し

に護送さる 張自忠南京

部隊が飛行機の合闖に用ひる大日

ガン七千罐を鹵獲

一師から魔様せる物品の中に地上

「天津七日阿盟」我が軍が津浦線

日章旗を使用

つあるが昨六日の重要を拠の概

我空軍欺瞞に

都施設及び身漢線輸道を場連航空除は昨六日度果附近 ・ 4 参加は主義の動権を建 ・ 日本の動物に対した。 ・ 4 参加は主義の動権を建 ・ 日本の動物に対した。 ・ 1 を表現したが、 ・ 1 日本の ・ 1 日本の

終やし関東地方和垪畑織 | 江口より最近移轉した龍騎兵工廠| | 江口より最近移轉した龍騎兵工廠|

【香港七日問題】 六日 粤 変 城池 | 設に爆撃を増行したものと見られ る。何通信機関が全然政策されて 続たるり演奏

近及いる地の電車施 中の我が海軍○○横は徐州、城域射磁を見目に称々と北上車車権助 【天津七日回覧】本日○○に特徴 や顕淳教術を投下して、支那側高機首を東に向け東山上空に達する あるので奥地の消息は不明である

兗州、奈安など批消税各要地の軍 事施設、軍用列車に爆撃を加へ多

上海七日同盟)片山中尉指揮の 附近敵陣猛爆

敵陣地を奪取

雨を冒し攻撃を續行

既定方針で邁進

九ケ國條約會議は参加拒絕

外務當局對策を進む

戴峰に對し猛烈な機能を加へた。「名受けつくも無事候終の任務を果っひ散散の軍用列車が充滿しそ蝶と「けに雌の防港は敵車を揺め、之を「 終年をついて大場戲及関北附近の「南郊外において、蘇高県禄の領撃」間には北方より潰走せる威部隊及「唯一の変通路被河大總領の盟門だ」

〇〇出採地を飛び出した〇〇般が「之を場際後端的打撃を興へて緊選「〇〇七日问题」七日午前十時頃「小烈北用船二百隻を襲見・直ちに

| 方十キュ)省近の豊野と建守する | 方十キュ)省近の豊可とこって| | 方面の運輸社完全に挫絶した| (依頼を終り、師章神乃頼(城市北 | 方面の運輸社完全に挫絶した **修約神聖の原則を保持する** (破駱南方二十キロ)三地騒の螫情 | 見渡す限り一面の大洪水化して跛| 附近の選河上において

敵軍用列車を爆破

十月五日シカゴにおいてこれ

ルースヴェルト大統領は

行し、徐州大安間において前行中「6世られた、その主たろもの左の」師から東西は親の水産院院を聞いた南回に引興合連加線の孫華を始、東宮に対して定期叙画の御が法の、暗鴻跡に顕著。途中崎中で柳川村上時後を――昨天日本の鑑別行は、東宮に対して定期叙画の御が法の、暗鴻跡に顕著。途中崎中で柳川村上時後を――『十二百二十五名の文』乗り淳上二子傳生を轄峻、午後三(教順七百同盟)兼前乗海部市前「神中将以下一千二百二十五名の文』乗り淳上二子傳生を轄峻、午後三(教順七百同盟)兼前乗海部市前「神中城以下一千二百二十五名 た。午後四時利原郷山に着く、

でのものを脅威するものなると、関係法の無軌道は平和の項型

「東京電話」共き送りでは七日禄 校議教章(各連) 「東京電話」共き送りでは七日禄 校議教章(各連) 明幹總費所締事 皇國臣民の行くべき 態度方針を強調 **!! 風丸で一節した、八日は蛟溝に** と態度方針を強調、多大の感激を に生業報酬と、農園臣民の行

ふと博士は「え、今度は中ガマも出世したわけで―」

が何時もたかつて見つめたことで譲りかよりの子

▲「立然になりました

後の推荐に重大闘心を掛ひ、顧黙

間が一致して、民日的空氣度厚とな

『アメリカ政府到達の結論で

の精酔が回復されることは、ア、従って條約並に関防道領球直 国の安全を位置に陥れるものな

リカ國民の最大の関心事であ メ リカ政府は極東にお

聯盟採擇の結論とは一致心と

明朝の惡化に善處するため封筑物

究を進めてゐるが、聯盟の九ケ國 | 國称省が六日發表した第日影明書 |

國務 是官は去る七月十

関係を律する諸原則と矛盾し、支那における日本の行動は原際であれる日本の行動は原際

橋里に現在の紛争が起った常時

府に對し釈題中止を勧告し手和上りアメリカ政府は日友兩個政

公使より二十三ヶ国務問委員會 で可決された支票における現在 の収撃、並に日本の体的上の義 新に関する報告書の正文を接受 した

皇軍堂々〇〇八向け行進(平漢線)

不職條約並に九ヶ関條約遂反なり

こて日本の適正なる行動を非難

長官の名を以て、我が對支行動は

推製動による公正なる行動に對し

リス、アメリカを始め聯盟各

會議の招集を正式に探揮し、

親脱を酸する一方九ヶ関係や

する概要を目的に九ケ関係的な

東京電話」聯盟總會は日支統母

館巾窩網組合の無電局を訪問、古一の勇士の英鬘を慰めた、饂飩坊舎 は七日午前七時新浦の旅館を出發「公園の郷州丸濱縣碑に参拜、日路 【造湖にて大津特派員選】南總督 | 泉関臣民の祭詞を唱和した、新祀 利原鑛山て坑夫や職員に 咸南北視察の南總督 なが、總督はあわたとしい观察に ク艦隊演習開始

蘇聯施軍パルチッ

うも一人がででもガマ ガマを飼つたり八ツ目

たり、グロ極味だね

遊才會話

TO THE PROPERTY OF THE PROPERT

り出せば、グロ趣味で 今度は八ツ目から若辺 | 歌モクソールを搾り出

趣味になる」とまる

は一九二八年八月七日経前され れた支那における九ヶ國倭約並 日の一九二二年六月二日稲前さ

大律七日问题》 午後五時軍發遊 攻撃を開始 十川、沿護爾部隊は去る四日

機鋼中のところ、本日正午以來改一方面の蘇の聚塞たる魏縣部語は共元 古雄し、日下旋縮を追撃中である居する山西軍ルモ一萬に對し攻撃。 女生忠紫村、林家宅を撃取しこの、、午前五時十分欲家宅、余宗店を以来終縣(大同の南八キロ)に職・欺敵事務強攻中の透開部隊は六日。 も閉始し非然な自兵戦を展開しつ以来終縣(大同の南八キロ)に職・欺敵事務強攻中の透開部隊は六日。 も閉始し非然な自兵戦を展開しつ 全に我手に聞した。 一方その〇歌 【羅店類七日阿盟】薩店園西南方の一に述なる安建部隊も七日未明行動 續々敵陣を占領

を開始し且下盛んに攻撃中

飛行用爆彈一手發と

| 「四村「銀橋を爆破す「安加」 | 破す | 中では、東京の他が返りに接て、大幅のは、12年12 | では、12年12 | では

青島市內平靜

敗れた艦二十九年は極所方面に向一ます~~晩年の条粒続出りを見せ、「億州七日時間」 僧州被の一般に「佐郊によれば確は全く職敵喪失し」

いものは見替らない

中根式素條形揚機被

敵は全く戰意を喪失

絲

廿九軍敗殘兵 故城に集

船では避難して來る外國人もある 聞は子學忠策と交替し賜集一帶に 旦る于郷忠軍二ヶ師以上に達して

全支に上

の競馬も行はれ、上海よりの定郷 れてゐる、青島近郊にあつた税警告背民の遺留賦定は安全に保護さ マツチ其他の大小工場は勿論一般など工場、ピール會配、油房、標準 市長の手で完全に推持され、機能 挑戦地帯の治安は北 け脚走中であつたが、僧に退路を一て居り、更に情別より機市までは 脱れた難二十九年は開南方面に向

娘に裏籍中である、尚母飛行権の、一切へて逃消税を接続し河北省境故 | 陸地じしし 内閣補佐機關さして

後の推移と内外の路情勢を考慮し、チアを始め羅梁間、井木町を敷巻 節佐機関として欧門機関を改造す ではに銀版できた押する為め内閣の ・ は親しく演唱をお願い 前編集室句 ではに銀版一致の質を繋げ図館送。加した、ワラシロフを命集団会官 会官ヴイクトロフ氏が作戦の最高

フルスカヤ。 レホリユー は設立か

特許

中根機械合名質社

京城岡崎町

、く近衛首相を中心に各方面の意 | 指揮に當つてゐる

回を打酸しつゝあつたが、機やち ・く熟するに至ったので右勝凹地 **阿日に互り興洋に西風寺公を助** 開城視察の 理總温

昭和十一年七月一日現在期間地關

高温井婦人病院 は七島赤い

京城府明治时一丁目 (桑斯里)

融 秋岡商會

銀管京城 | 二五六年

することを使うようもので、「年刑妨所を超て再び被政局田服所政府の時局吸切りに護國できる別」年刑妨所を超て再び改員出来を認然、少分に及じを一直報告を指する。 を観取する所あった、しかして右 で示め、更に七日首和官邸に興野 門局京せる原田原準男と今見原解 工事誘致に関する斡旋方、顧原へ登議所登順上り高等措通事技能を 際町多数官民の盛んな出迎へを 開城初度観路のため甘原京都北知【開城電話】大野政務権脳は専祀 を表にした、席上根荷工 る官公野は、民間なり 2021 酒井婦

型として各地方に於るる失業者状況 地として各地方に於るる失業者状況 地でしめ朝鮮の各種事権に関した 後四時自動車で開城の途についた の総理教授に就いて限情すると の後、賦地江を照て午 博物館、京都批惠本政 川坡府町を巡視、次で、機能はことより近に 原於與按網子 金拾雪園 四名目录 金九四國五拾錢 司二章 金九四國五拾錢 司三章 金九四國五拾錢

| 横山 口脈衛生技師 | 佐衛生技師 (七等) 待返 | 佐衛生技師 (七等) 待返 ||人||||

就いて各主任の政明を求めるとと | ◇佐方文次郎氏(東拓珈琲)平壌

に開始の上十日京規酸内以(別部計長)興南より

職業部介所に現はれた特殊傾向に

學理に基ける 教時代の 強壯剛 服用容易 樂味芳佳

特に一般虚闘

大郷間別後の前に城大寒郷事別第の しいコンクリート 金額型リの素晴ら

の面い他が出来た。▲二重にな

· 外輪は進く内輪は深

た他を改造したものだがの地は元頃士がガマを飼

ザガマが住んで居り

たところは蠢がお仲間



何僚の日の盗いのが『君も特好 しとるところですよ」といふ▲の八ッ目機が手に入らんので探 つもりで並つたんですが、脱野 の深い方に朝鮮八ツ目隣を倒ぶ

食泌不振 **歐落症、病後恢復期** 腺病質、肺結核、肋膜 奕、莲婀娜、性的减退 **帝養障碍、神經衰弱** 胞の活力を昻進 神艇並に身體細 食慾を増進し、 神身の過勢 瓦宛 一回四一八 旦三回服用

平漢戰線從軍手記[4]

九日【閏】

通信筒投下、吊上げの放れ業

調整法を前に

諸會社の拂

皇軍尉問金(群を略す)

京城中北米倉町八四村田南店 京城中北米倉町八四村田南店

累計金 六萬八千五十

朝鮮防空器材献金

献金を本社も収次ぐ

わぜ牛島空の防備を固めよ

組合せ決定

素人にわかる 治

欄介紹

療

淋

病

篇

東京日比谷病院長 深 生

潮 周

病が不治とは素人の盲斷であ

夕刊後の市况

七年的に成資気候の難り目通野と年前に成資気候の難り目通野とのでは、 東晋 向収音器 (日本子)

手術の便得さをしてみなくと衝撃|大関語には動闘殺を縁ふ世襲の 一その動間の一助にするにいさは上

就といつたやりなものが選ばれて 見てゐるもの。千人能、子供の赤

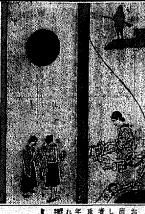
; 6 兵士は手拭として質用の外、ひと つて戦き度いと存じます。 ないのでありまして、一様に重い決して軽々に取扱いべきものでは 大體に於て實験後と云ふ病氣はつ を取るものであるかと申しますと 次に盲腸炎は其の後とんた影過 といふ事は、棚様とも申されるも

という

ったと致しましても、又再棄する のでありまして、よし一時おさま

盲

膓



1-IW

お召は――集物では味はふことの一ありますまい ◇此秋のお召◇

更有小数におされ勝ちでおり、ドー農者ニモミレン・ 大の新しいは、うにはつない能によっていますのですが一般には、向としまして、全難に色目が大甕 芳に壁の取り能によりまするしまで道人の間にはまことに受好 ざりしてそこで、今秋の新しいは、揮撃池を浸ませてトントン叩くや 色目が豊富になりました

完璧を期する重大要素となるのは | 愛国婦人食や関防婦人會の人々が 水ももらされ紡練の下に建つて居 各地でこの精験品を各家庭の順々 なるのです、東京でも、大阪でも この運動が全国派を消え

し、クレヨンの著書は柔かい市に

表徴としての、兵隊さんたちの見。にころがつてある。空職、パケツを戦を構です。只機然と精神的な「になります、そこで様さんの選所 各特場を してしつかっと 目さばどうべずに捨ていしまざも | 腕品はすべて深丸となり、兵器と はさはどがハイに捨てくしまかも 野、ハミガキのチニーブ、帝平素の犬のあいたのや、黴瓶の古、古 関で生配の少ない他の問題が単大

立に、田祉兵をおくる領頭の興動 を集したいものと思ひます

冬への部屋の装ひ 汚れや崩れた壁

表 整 条

部室を閉め切つて見ると壁の汚れ 離が脱れ落ちてゐたりするもので、落構さや瑕や活かついたり、下の ばお子さんのある家庭では、様に や襖の修織と一緒に壁も是非手入 **室内の無分が大切ですから、陸子** は非常に範疇しくわびしいもので 解かな家居の業しいこれからは 塗り替へより壁紙をはれ

Ħ

一時間の五分分 正順

飯島

自動の一寸した汚れなら布切れに 微粉をつけて擦ればすぐ除れます |位の水準性ペイントを買つて來て | 皮炎で漉しますの 刷毛にペイント もじで天ぶらの衣を拵へるやり 月口のやうなものにあけ、おしや をつけ、左下隅から解かに気直に 水を少しづゝ加へて焼り、加減を 遊屋が発物屋から一種二十五 紙を貼って平らにしてをきます 端を活用した

汚れの除り方

出来ますが色壁は壁紙でも貼るか 白壁は以上のやうにして料理に ペイントはつけてある時は高いや も何様に触りますの いものが、ついに辞けて刑び数飛車が引かれて吻とした、重苦

壁紙の貼り方

の壁師が、官職炎に對する疑り、 小児科其の他の科を聞はず、兄て

手術せずに妨見的な治療だけで治

な等とは、特別の場合を除いては 常識 となつて居る様なわ れならば何故に姑豆的な手段丈

次に官勝部に有つた政は、共進史 現も赤、之の時間内が最も及い事で御座いまして手術の道際時 手術 に関して最も大切な ふ事になって居るので御座

関係の質問は盆々様大

計抗したのだ

けでは危機であるかと申しますと

けでありまする

乃至四十八時間位置つてからで大略初病してから、二十四時間

Tomosan aasorbiert

Sowoni im Magen wie ouch im Dann

しな用作副 藤 低 格 個 を放入(十月堂) 一を放入(十月堂) への能入(衛用)ー

許特黃專

林禮 材料販賣

冰冷|工事請負|

版变元 友田合資會 東京市日本播版本町三ノ一 をふ。代金引後にても即時発送す。 者し品切れの時は直接阪夏元へ御建文を各地の薬店及びデバート郷品都にあり。 照答口座。東京。 | 条穴 田本槽(岳穴、云)、 岩岩

日本の一大学にかり立てられ、114(本の一大学にかり立てられ、114(本の一大学にかり立てられ、114(本の一大学にかり立てられ、114(本の一大学にかり立てられ、114(本の一大学にかり立てられ、114(本の一大学にかり立てられ、114(本の一大学にかり立ている。

此の作用は今までの胃腸薬と違ひます。

れば、胸やけ、呑酸、胃部の脈迫感などは り、腐敗酸酵物が一掃されり、腐敗酸酵物が一掃され

門の痛みは消失し、胃の働きが活躍となつ て消化作用が充分となり、 下痢、便秘など また胃の粘膜の炎症、 廃場が回復すれば ない。

早く回復させるのが新しい特長です。
く、胃酸退多の消薬を治療して、異から
からトモサンは、一時的の制度肌でな に治療なごる事をお集めします。 **吸著作用によつて、一日も早く、本路ない方は、この最新の貿陽栗トモサン** 慢性の胃酸過多で悩み、經過思はしく

|果樹、桃菜、園藝、川森川マ 田文 福建縣省 朝力强力 霧器 型蜂遊場 學學









の分泌を多からず、少からずする作用――第二に、胃の分泌を整調して、する作用――第二に、胃の分泌尿を整調して、

第一に、四肢過少に起む部の多い過剰低とな トモサンの吸著作用とは

陸地測量部發行の最高など、至す朝鮮機関府測量を操には地域を利用など

五万分一地圖大賣捌五万分一地圖軍隊教科

非山田昭和池(Fd 総営原城(Fil)○五4 動土等 吉 岡 定 男 動土等 吉 岡 定 男

第二年の主要なら三大様と独る。 田である 開である

+

紹りの人がその全部ではありませ

にあるもの、桃に婦人の心がけは

一般の現立に、我」るものがあると思はれますが、お「役割を果したいものと思います。 銃砲 即の ・ 神幹上、或は歌一わたるとすれば、その独果は大な一のみに群はず、ほんとうの弦楽

図磨さチューヴも弾丸に?!

廢鐵を集める運動

は技術の進步を語つてゐます。と

になってゐるやりでも次第にピン ります、からして貼れば最初は勝 いちくり題すとだぶつくことがあ 一は案外伸びるもので片一方ばかり

> 一本格的に治療するに限る! 一時的の治療では駄目です!

胸やけ

液が逆流る。降脂が重くるがする。茶酸と云つて酸い

いひますのは、色彩の豊富、便雅 からした複雑したものく出來るの

手一帕

髪色も少く、 よほど耐久力 は羽根パタキを用ひて埃を

排つて腹くやりにすると。

布表は斑や墨に比していた 表の草原が愛用されますが 秋から冬へかけての**展物**

を時々取換へて履くやらになしくなりますから、左右

(関は△二三歩途の局面)

飯

塚

勘

か下痢を伴ひ、腹が張る場合もある。

症狀があれば胃酸過多症です。

つてが支へないだけに、之まで個々の総段脈が使用されが思いと言へば、十中の八九まで胃酸源が認と書 異力要等低用が認識を高め盛んに質用されてるます。 私近では──重要形でないトモサン

・恵安地でないトモサンの

第

後には発射的に強縮感化して來言す。

この胃酸過多症は、一度、慢性になると容易に発音

しく、食後或は空腹時に痛む。そして便秘

泉

古(東京)

布表草履の

また。同じ處に力が疑く

八團體銃後の役割に

廻し、左横がらで今は職気だくも

物 Ø 生

方集

古下駄をご覧の通り

いるのですっ

の歌なカソー(「帽を繋めて極大な

にもたらぬものできさりとで捨て」をしてカンナをかけ、それに人間だりますとハナアを近してはく集」ナブを取って前ハナフの穴に現木

の横に足形を描き、銅にて花挽きをしてカンナをかけ、それに入庫

るのも惜しまれてそれがたまるも

つとつゝかけてはくモダン魔物を

て、花座き句ふ脳の概非に、ちょ

そこでこの古い勝下駄を利用し

これはまた過酸の指除はきにもよ

な味です。 從つて着き人々には卵 歴が汚れたら敷料を貼るに限りま

やかなものが得られるのです。し

す触りなほすより安上りで、時間

一等しエナメル等がありましたから一種物に岩辺ります。

多堆館鉄盛一キロ二十五銭、同一を一キロにつき一銭値下げした。

京城府公政市場では七日から自 で精米原料が著しく低落したた

胃病で一番多い

を記

定 W.

> 齖 M 企 企 企 型 四

金七桁左**四** 定 策 托 用 船 家 庭 用

胃酸過

「年の傑作・新米の出題」が阻

白米値下

等門二十四銭、普通一等向1十三

脚の先の両側より釘付けしまする て既二種、長の子一種に切り、前

てれは昔の事。その帰還ぶりはめ

付いてゐて力強さを感じさせ、さ

っしてその丈夫な脳に於て現代の

いものがあります、もつともこりいものがあります。 指導がた一枚十銭以内では十五銭位なら機製物でも色のよい

伸ばずやうな心特ではります。

先きに貼ってプラシで四方へ幅~

もはげしいものでするそして古く

作り方は極めて耐難でしまづい

は前のやううに佐概してから模式

取らへてをきますの 壁の穴や崩 面に裾をつけ、紙の中央節かり

糊は生歌四、歌遊音六の割合に

色か好ましいでせる

はなられるのだけに、そのヘリ方 下駄は私共の日常生活になくて

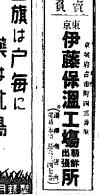
る努力に依たねばなりません、珠 に他年につきものと空襲に聞へて 上層なる婦人の動作がその防空の

のは、何としても婦人の自動あ

栗甘の田池

げ第

京城本町一1日(郵便局務) 第本(2)5017番・根替京城3+6番



然式量於北島樂店 樂は北島 是正成日新型

抗化その他の田作物を近年 前債の糖費に加へ軽作は

一般を實施し所来の非常低級に のので貯穀高十四萬四千四百九 のけて下さい」と様々とりたく

ピー人の人から一本づつ服きま

【仁川】子人針ならの千人類草が「又同日離湖小事接所窓合ではまる さんは大日療兵分遣隊を訪れ、た十圓を、朝鮮酒を造組合では図 三中村一様校の運動會で製店を出し収益し 仁川一婦人の赤心

人·煙·草

王伽として七日から三十一日ま 時局認識壓談會

0他に属于本む寄政。 一で各部署毎に時局認識理談往開鑑一

本も塊へないという気の様。故し受國の流域を地震した 戦 物理



譲渡か はた併合か

(計の平壌府電 稻葉府議はか四議員を招き

の確確問題も高く大晴となり府 | すれば如何にするか等の突き込ん | 四日午後三時過ぎ矢野府井は褶|楽はいよく〜注目されて来た 「平頂」波瀾曲折を極めた平壌府」とするか文章仪を府側から出すと「地一帯は見事に緑化されてきたか 四電回客員の択済も行はれた。| 左回観も騙せられた模様でその特 | となり、発由者相つく昨今、中に 冠岳山の森 は折角値に樹木を折る不心得者で あるので
那林業係員が
降頭に立ち いよく〜秋のハイキングシーズン

脚類祭を執行した | る程道といふか<mark>球球数を呈した</mark>ま、た何語官の発展式を保行脚式祭を対けした | る程道といふか球球数を呈したま、た何語官の発展式を保行した。

かる多量の太刀魚の水揚げは全く

では去る三日午前十時から同地大 【永同】郿內從測變國婦人會分賦

【恵州】野原駅では左の日間で音

受婦御諭旨奉戴式

| 同に念典、國航五掲並に真証の | 唱へてあるが元山漁組に於けるか

過長久靜順祭を執行。又四日午

「丹陽」「原軍事後援聯盟主催で一

武運長久祈願

【元山】漁業担合春日町暇費所で はさき頃から太刀魚の水揚げが頭

矢野府尹愼重懇談

久邇宮家に

前の株別とするか「部理会」の風敷検選及に全力を迷さ起近時、名歌川畑で調選個順を会部「「永祉浦」始興郡では遊除形成山

三作に浮かれず

の如き御帯観を滾し巡したで樹し京都久邇宮祭刑常学川瀬兵宛 一個リ永井仁川府尹は府民を代 L川】放久删官多冠王殿下御史

その他林業移民や少年移民

宛九十紙に百八十四の可愛らしい

四萬五千石を目標ごして

忠北の備荒貯穀

に備へよ

七川」府では去る大月十四日の一塊行した京城府外培権间前経済質 常認の波狐が翔やかしい毛に包ま れた結合様を並ですゐることれを

料理屋も大不景氣 水原の非常時局相

の東上げた者しく減少し、破に称」人物理店は五分八周、朝鮮人物理選により長内における金融機能量(分五度、準品類は三分三原、内地選により長内における金融機能量(分五度、準品類は三分三原、一級商店は七年本

〇二九職、九號三、四四職

(四歳) 債権二千四の名場二頭が

魔の山より出火、护柄の風にあふ 底も手のつけやうなく、並び起、内閣町戦置局田型所前層場野戦の 川北折郷の守徳で水無きたと消費 くらちに置ひの苦 魔庫も一時心部に関したが幸ひこ となるを得た、現場不能であるか

原因は列車の煤煙

【銀南頭】五日生民三時十分頃形』火松の明込経(附近を凍むり後、一し、換機であて 野積み門の大火 苦を焼いたのみで損害僅少

珍客萬來賑ふ清津

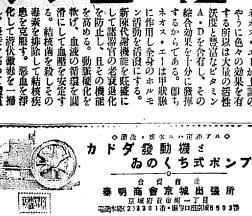
平町に新楽中であつた仕川府井官 は、八尾等の局々を離散する高台、山 「自会・竣工」 かに永泉、繋月、 に川府・尹 【七川】一説 遊

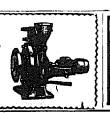
永同の棉花共販

シオマとは別

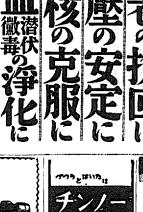
緑合効果を十分に酸抑 大度と豐富なビタミン する所以は大量の活性 やうに色々の効果を有







ネオス・エーが上記の



0

摩健艾

分に發揮されるのである。性である治病、强健の効果がつて、これでこそ沃度本來のつまでに無い沃度劑の完成でつまでに無い沃度劑の完成でつまでに無い沃度劑の完成では、これでこそ沃度本來の後さ五尺、幅五寸の昆布

įΞ

房藥井新計刊町二週門太剛城皇皇

八大〇- 九〇四 電八四四三、四〇二、四〇三、四〇九 平本一 城東督福

の元寅

里の地野。右斗山里南部帯の中間「上、所持金を奪つて逃走したが沙」である。なほ地行現場は抗術者が「投票、表彰された街州、米陰川計路を清州から叙三・郎、狐面を滅多斬りにして観殺の「現場は鮮命戦消として陰峻を掛め 情鳥及より動秋窓を頂中にしての弱途。午発十時頃「で大持戦を復じ任機は株で柳の頭「談を送げ死難を 解館になし、たが「なく込っしているなど頃中にしての弱途。午発十時頃「で大持戦を復じ任機は株で柳の頭「談を送げ死難を 解館になし、たが「なく込っして十二年間間の「後で4」頭を置り代金百十箇内外 「フ・三川鵬れた道路下小河の砂原」院を開発視析も近ちに日節して被「(汶山)頭便所集

またも萬壽台から

日露役勇士の遺骨

墓石の銘に『近藤正義之墓』

2對し一窓にコレラの強防治射 五、七期日府内の接名業者二子

「開城」開城署では府と協力し

開城で施行

米澤出身の青年將校か

平山里柳永町(M)は五日の清州市 | を揮つて斬りかいり、岡地野から | けつけ大活動を開始、一方消州法

い殺人強略事件――洛州都南一面 | つた体験が帝職から難り出で、鋒 | 民司決主任以下釈事隊に非孫に征 | 「名州] | 一部断撃、私の夜に血程 | に光しか、つた折、本冲り錐を持 | 常名楽の上版東に搬売期を取り西

兇器は草刈り鎌

清州の殺人强盗

犯人なほ五里霧中

器では五日午前四時頃、郷貝を非

あるが常川祭では不既不休で迎人るのみで犯人の正體は一切不明で 撲査に活動を傾けてゐる

動織集配手表彰

局田福所で少感後目下作業中の紅 僧伺し六日午前で一時來聞、

で府職等発者を助れ新住党院の後冬工場を視察の上加藤所立の集内

後七時頃間城の途についた

虎疫豫防注射

【開裝】鈴川駅貿局長は吉田

開城を視察

鈴川專賣局長

は原行用の草刈り鎌が疑されてる をしたらしい疾亡があり、附近に

た阿人の長男。 柳文樹及び篠

猫

A LEWE

+

元山漁組管内に近來の珍現象

国の物評温調整事業好の念及び敬

後一時から府職員總山で、宿刈 樹淵振作を聞る主旨の下に七日 我つたので時局械府民の走業和回記念として植付けた稻が棚か

際民ゲーに模町の蔬菜駅作用で第

迎したものらしい遺倒があり飾り

とに届出に控した平墳憲兵監督「線といけれ平壌憲兵隊では取政す」「鄧和は安州に兵を集結」

十月に掘り起されたのも何かの命

は擦行に便利で永く保存に堪へ、 は擦行に便利で永く保存に堪へ、

組の利いた歌問袋人で代金は一 八合さ外)七十二点、胸製の連備

ついいて軍靴・ガラス製水筒二人

いつの間にか揺揺まで地下に埋ま 於平壌兵站病院数』と割みこまれ 戦には『山形縣米瀬市土族 (二十

在では、変する人もなく經過したも一質時の模様を紹介に左の如く語つ

- 極端世親大の親石を掘りあて | でゐる、長い間春風秋雨に隠され

前記日謝性職残者の遺作機能につ

窓間品に勝栗

宗那守の諸語があるはずであつ の跳話かあった、たほ小掛枝で

「水瓜」六日愛陶日に割り色内

水原の愛國日

袋入りを寶出す

安町公脊校) 朱安町、櫻町、

【水原】邑では左肥日制で秋野

水原も施行

新、迎野、县安、地水、梅野

新聞金敷地から又も五日日第役の

烈石の表面には『近麓正義之監』 | 軍事地に埋葬することになつた 提協に急行調査したが強捌された。 寺で扱うな供養を行ひ近く平壌時

いろに供養

平衡】歴に日清繁役の勇士の遺一局でも襲き而嫁からは保真が直に一てれらの遺骨をとりまとめ事本類

太刀魚物凄い豊漁 の的となってゐる。 時局座談會 【日川】府下は秋季定期補位を左

内で生後九十日を過ぎぬもので三 種揺を要するものは出生より一年 の日朝で施行することしあつたが 自以上保護者の希認あるもの。

【仁川】参瀬倉では左の孤り祭師 仁川恣禪會行事

(本村野坊主任) 七日

【永町】郡内の今年昭花は近年

有の理作であるが七日から共同

【清州】脳では本年秋作付から季 改良権職を實施することとなった

麥播實習會

東京神田神保町三東京神田神保町三東京神田神保町三

意 隨 院 概ä花波时治明域。 。 三七人三角電







ゼ、リバーセ等の消化酵素の

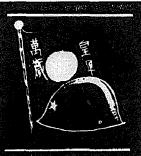
分泌が増し、吸收の機能も自

はヂアスターゼ、

プロテアー 減退したの













なり、従づて胃酸の分泌作用が調

整されてゲップ、胸やけがとまる 恢復して、胃壁の收縮運動が活潑 チャいふ水袋を振る様な音もとま になり食慾が進み、胃のボチャボ の人が服むと、衰弱し た胃筋肉の細胞が力を

ろくつの胃腸病に用ひて廣く効果があります。 胃酸過多症 してゐる胃腸の細胞機能が正常に と變調を來 の人が服む も健康便に恢復する。 ら出まてつ消化がよくなり下痢便

縮が正常に立直り腸の働きが活潑 通が見られる様になります。 になる結果として、一日一回の便 ならば、便秘の原因で ある臈の弛緩または攣

表端 鉄わかもと本舗茶養と育見の □・五歳前後には五十日間・一歳前後には六十日間にかる 「百鑑は大人には十十日間・一歳前後の気でには向四十日 三 百 錠 一 圓 六 十 銭・一 千 锭 五 圓 藥價低廉一日僅か數錢

て之等の綜合効果によつて、衰弱してゐる胃脇の機能に活力を與へ、 と」にはピタミン始め多種類の榮養素ホルモン、活性酵素などが含まれ は下劑を、といつた樣に殆ど化學藥劑による對症療法であつた爲に、素 アルカリ劑を、胃腸カタルで下痢するものには收斂劑や炭末劑、便秘に 傷を恢復し、胃腸の組織を強壯に立直すので、 人では薬の選擇だけでも仲々困難とされてゐました。ところが「糶わかも 従来の胃腸病の手當といふと、胸やけする胃酸過多症には重曹の様な 從來の對症藥と異り、 損











◆わかもと本舗では一千歳小娘兒童の教育が助成のため、全國小郎様へ教育を動き出して居り を必ず歌な教育排師を新帯断して居り を必ず歌な教育排師を新帯断して居り ケースを切開いて、その内側、御住所御は お宅で御明霞の新田名、雑志名と 問題の答を必ず御記し下さい。

わからと空ケースの上下の部分を切り拾

參加方法

(カナでも可)

児市芝公園 わかもと本舗榮養と宵兒の☆ 先 最寄薬店へ御持参下さい

彈丸散納

|| 入場券は各地わかもと販査店にてどなた様|

羅猷 学 別の大給者 無竹大船攝影所轉作 孫、南、南選手の活躍オリムピック記録映画 大和武士の単 健康への交化映画 時局エユース特徴 思視の整 戦コ ホあ讃 艦 I L

主

催

朝鮮各地わかもと販賣店 わかもと本舗祭養と育兄の會

世 十十十十十九八 一 八五三二一 日日日日日日日日日 日日日日日 成元新鎭同平 義南 興山州浦 壤

懸賞期間 中二月十五日まで

閑院參謀總長宮殿下

畏し、白衣の勇士を御慰問

東京第一陸軍病院にて=電差

花郷の機町の御別邸では午前、蟹車は確保粉長の「吹きなす」「UPTRIFO」と関してもでにより傾動ります十月七日、京都市「立の御帳別に得されば三十分」の頃味を移べさせられた。か位久瀬宮多庭玉殿下の永へに「豊穣は御車寄から呉喰り二頭」はせられ窓の側に正午奏場「京都電話」故原官祭主大蔵」させられるや門九覧「十分御」長春社の下に奏場の側底を有いてに奏場の側底を有いてに奏場の側底を行ってに奏場の側底を行ってに奏場の側底を行ってに奏場の側底を行ってに奏場の側底を行ってに奏場のが側底を行ってに奏場のが側底を行ってに奏場のが側底を行ってに奏場のが側底を行ってに奏場のが側底を行ってに奏場のが側底を行ってに奏場のが側底を行ってに奏場のが側底を行ってに変していましていませい。

長率仕の下に喪場の御儀を行

松仁子女王:公丁を始め奉り(、秋晴むの岑に邛崃取くæ・辺・入新たに二時四十分御殿下、故王紀郎子、庾浩王、 即竣引、河原町通りを一路南 道ませられ故王への郷追郷地底、千分より東王宮原憲王(第)後瀬稱に加走河町の御殿、山内西南の久邇宮泉瀬東所土町)。

公選官大妃殿下以下谷島族方 れる御道院を謝々と御戦場月

故久邇宮多嘉王殿下

斂葬の

わが鰤産商品の池田を目指 船早除丸は歩る11日六 取扱ひを受け軍兵站部。清休、民一と出つて来てゐるのはこの間の事 産婆役を手古摺らす

が、と、に関らずも一部所人間 | 程で、天街に於ても他の物品に比 鮮産品進出の精製を置き基へて 中間の貨物を満載して天津に 際一郎所品は市優よりも高値なの 校して創高なため競技に當つて困 肥等の好意によつて引受けられた に無仕き観音係員が注意を促した

常業者に再三折面の上海く引合の 立したものもあつた。現に酸山湯

、韓越によつて見極丸で送られた。 境員よりの報告にも「債長の安債」 右に就いて本府外が影片同は語る 取扱ひを受け電時始節,所称。民一と言つて来てあるのはこの間の事一せたことは形束の北支質島遊屋「整権で、これらは何れも無税の」る琵琶道御引せしめて處分せり』 | 現版を狙ぶ小園民的演人根情を「 屋前民の日川品談之を捕光すると「認識しない基準消入としてブラに今回の館重品輸出は真事を初め」る機匠をとるととなり非常時局 情を物語つてゐるものである、特

上げた御襲棋の前には投き達 **東場に御君、時則に御安健中** りより御下賜の御禅に幣帛及

一對しては最見大事(低軍人系統の狀態を戦撃した報告)をせしめるやうなと、一般就後の活動戦況、差行皇前、田

位へ」と駆する勝子を造り鮮内一大河民友會では『忠男なる戦線各

半島右襲脱機として活躍して來た

小船子を頒布

今後は業著目間も今少し目配し事は協會としても残念だった。

思想轉向者が 時局に奮起

ひ込んであた前科二犯の助者を親

寝込みを捕はる 人組の字巢團

南山に金庫を隠匿

を埋め騒品をかくしてゐた事をが、一味は南山の松林中に金庫

と山の寫眞展の歌舞

間が手の切れざうな十間礼でしばの中には瞬品を度分した六十

及び山の寒道展は八、九、十の三

日間大梁商登三階ホールで開催、 スキー山岳會主催の『戦前の支那

出品物は食員の手になる昨年中

まひこまれてゐた、徐即取賜中にカラクもわざらな十四札でし

高粱畑の痴漢

(死刑を求刑

日覺めよ 質協理事談 朝鮮商工會議所を代表して北支將 艱苦缺乏の中に 北文に造り避りを全館谷「全郎が思想方面よりの韓向者でこ」では試目してゐる。他したもの数五萬を明朝。 | 方面に配布した、この會員は雅ど「の夢に出て、ゐることに

立石釜山會頭のみやげ話し

\打つて田るwになった(食品

り立の程御願い で来祭一切(大本祭)のリービスに で来祭一切(大

現(大阪より蹄坡)本日より常奴(大阪より蹄坡)本日より常

ひ致します 動める 事になりました何

皆様の

1

電話本局六九一冊 丁州原本店 原規府宮町町一丁日九十一番地 京規府宮町町一丁日九十一番地

朝鮮製水株式會社巡邊京城府雙行橋

H 場

グラウンド

分とする十人組の常旋側一味が七

郷帯したので府内各署では防犯陣 班字大里("古前科一心状版用(" 妻に悪心を起し、題な高知に及び二神(根蔵玉(") を主張とし向科 高楽媛の片偶で出述った美媛の人 が人運奔中、 故様近生れ前

を興ひ主題以下七名を始果した。「幸」。にかくる題及未送殺人事件を興ひ主題以下七名を始果した。「幸」の版書を動し殺した住所不定井芝を夢止めた本町器では、北日、紅の恋を騙しさんものと刺刀で女 を登職とする子人組の独行である問く振まれて目的を果し得ず、」

『これでは事故も起る筈だ』と

來週から訓練を復活

|通道徳逆戻り

、18月これいでもたちので、一山深柳軍係で上省公判が開かれ極所の内地人宅東門に雲棋、北路、上に日京城高等法院で本条判が、一味は昨後である時代の大阪・一味は昨後で本条判が、一年により、 の被害動約八手間位を自自した。事より前膨血り死刑を求刑された一勝となった

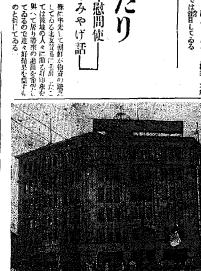
- AMATE (0)

|戦前の支那を撮影したもの の各山々、冬の影情解、金剛山とら木夏まで走破した北海道、台灣 海 排5 (21-1) 1成興 朝鮮神宮競技

(那人である、戦闘の母図に

保証した何店のコック君と何 の明治町中郷亭主人がお篠 座候得共日本国を軍数数し 心をした概那人の一人なのだ (正義の魔日本に全僧類をおり への誘拐賊に『支那腕雛 …これも、日本人經濟を

に百々明(ドドアキラ) 最高温度】十七度五 最、後小雨枝様「きの けふの天気



朝鮮會議所の皇軍慰問使

工氣凛たり

大学社会に 一様、金 携、込 催 告

ta ann ann

朝鮮麥一株式會

祉

※ 豆口等内

秋の豪華

サービス!!

内動 門本学院 中国 (本語 中本 中国 一大大大青 東語 中本 中国 一大大大青

上六院、地下一院、壁上共に八院 の復興式、半島最初の電光ニユー の和信百貨店は九工三萬線 (近代的な歌事なあで数です **骨架中であつたが七旦**

一層これを徹底させるため、京鉄一直もに南州郡居に増き込んたが開かられたの職の中や京郷道では一本を切断されたより、京野山は 世界、非常な好成就をおさめての | 停車したが間に合はず、左手指五 | を七日から順大豪途するこ 本を切断された上に頭蓋所を粉除一つた 和泉町地内郡是製糸工場裏大カー|南北に完成した野崎者の身の /を注極進行中、同町居住安一胞 案じ感気鏡、曙形鏡、 こが級路上にあるのを疑見、急 キ、消費、股胎職など九千三百 難を仕度前に奉仕

衣へと半島民に色衣楽雕を行った

大運動と共に不經濟な自衣から色

不府では自力更生、既村根軍の

主任が証けつけ實地機能した

養鶏場荒し だらち

[珍名蘇與] 廣島縣職山

料染色場合を設け一般府民に色衣

に依る冬仕度をさせるとにたった

樂品類を發送

勞働者の為に

幼兒無残、轢死

は十日から十五日まで、仁川は十

目から十五日まで三箇所に「無

州潜引艦忠北線第五列車が清州邑

あるが、本府はさきに平南北、成¹んだら遊むたんび!

寒泉は頭に加はり感覚が流行して

【循州】四日午後三時四十二分消

の輝穣に渡み六日京御道保安縣で「百六十ケ所において行ひ、保貝三」自動車、電車の通過する豪數を護めたところ、昨今またも変通審故 | 日午前六時から午後六時まで府内 | な郷頭に立ち牛、馬車、一般車橋

現後はじめての交通近調査を十二 し府内の目覚通りや、交通の頻繁 京城府都市計載係では行政區域版一十餘名に京城商業生五百名も贈扱

十二日府内目抜きで

開北方面へ戦車を先頭に突入する我陸戦隊 (帰羅路附近) = 航空便

成績を挙げるとを得たが、支那事 策と共に使然緊張、鉄後の黙臓に

促した結果大艦に於て所服の 般府民の交通道徳に掛する自

回毎週木曜の交通訓練を中止して

と定め府民の交通訓練に努め併せ

京商生心應接し

交通量調べ

とする交通協構から府民を設けん

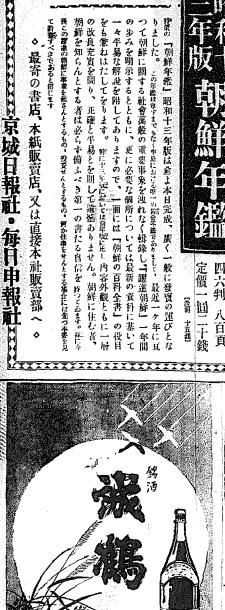
したために貴い生命をあたら機性。事故も想るよ」と来郷から夏に交」して欲しい。と言つてゐると、不社蔵または交派道籍を無職。した佐居はあきれ返り「これでは「で失っことだく、生薬領國 内各製と協力し今春以来、一寸一度りの駐艦で、府民の人権に信頼一向上に努め其い北命を交通事故等

「で失ふことなく、虫薬和國に御道

京城府民は「本」各署と協力。久し振りに交通取締一通訓練を質施することに言った。 はの変更進進に到する難念は全小道。少し大都市の府民とてしその人権。
東リを行つてみたところ。京城府民。信道保安縣では「時局標所民は今

りました。この智能は単字まできた〜単島における唯つ総合業でありまして、最近一ケ年に国の多みを明示するとともに、更に必要な個所については最新の資料に基いての多みを明示するとともに、更に必要な個所については最新の資料に基いての多みを明示するとともに、更に必要な個所については最新の資料に基いてつて朝鮮に関する社會萬般の重要事象を洩れなく帰錄して躍進朝鮮」一年間りました。この智能は単字まできた〜単島における唯つ総合業をありまして、最近一ケ年に国りました。この智能は単字まできた〜単島における唯つ総合業をありまして、最近一ケ年に国 の改良充實を倒り、正確と平易とを則して遺憾ありません。朝鮮に住む者、 朝鮮を知らんとする者は必らす備ふべき第一の背たる自信を持てるまで。非に今 我との輝通の朝鮮に事業を起さんとするもの。投資せんとするもの。何か仕事をせんとする場合には先づ本書を見 最寄の書店、本紙販賣店、又は直接本社販賣部へ。

********** 定價一圓二十錢 四六判 八百頁



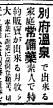
造礦見深

院長 醫學博士 織田 以后来的(2.接三二三九五五一届年) 将作机时(本明四丁月月本年 (角度) 田病院

定便・三〇 (使中な器付) 起便・三〇 4六〇

似所が授助師東東東房後名 五銭封入送れ規定書と日本心

進星 久 能 木 本 店





















地支、北瀬の疾奇にも 地支、北瀬の疾奇にも ボンク・パーの ボンク・パーの



































井 戸 湖(四〇尺以上) あ万年意来社あれ、東端北半面横 市大門連一丁

关區會別館支配 一 定**腕一七四**

軍

大統革が、大統革大元代のほか

家 政 福井朝田優なる内地 ・ 大八 瓜和六五八番 岡 田 名 ・ 教文は延昭にて併り慎江風一六ノ ・ 大一八 以より即十一次ノ ・ 大一人 以より即十一次ノ

京城府黄金町三丁目永梁町通り

见断案好保留证用这五分 及断案好保留证用这五分

★ 新第二次出售業件













護れ皇國ク 必ずボンクーパーが 護れ咽喉グ

剤 声音 隙 囮

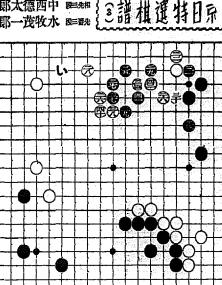
ボンクーバーは

見句を能感せしめる

機能の順思は

難を取断せしめる

「見力に眠くても、慢はあなたを さら云ひながら、鏡訓は哲子を 電子は確全配器に揉んだ。 時(東)幼兒の時間、覚話に乗済受神士・蛇川・虎三 ○非常時家庭経済の切り三〇分(大)連盟家庭職 日(金) 四三〇分 エニス 関三〇分 エニス (別辞録・絵山) 見市服の作り スペ (別辞録・絵山) 見市服の作り 彼の手がポロリと鈴子の謎から贈 この奏章は、雄大で発やかた第一者しげと一つ三つ陽」に担子に 第二章 ラルゲット 見た時間 まるで戦へられたやら 所が低つた呼吸を吐 イと独お向けられるのを感じた。 Tan L **心際に刺手で驚傷の顎を突き返し** に、倫子は片手を狙から外して、 思はず柳州を巡立てて、鈴子は 『何するんです。 蘇を立て ます 美しい鈴子の唇の前に、腹部の の爪が上つたのを感じた。 されてゐた殿の上から飛び退い を騙つて、そとが唯一つの出入口 た。求めながら、飛び逃いた懸ひ の肚年期の名品である、今日は二 情、**影响**たる技巧を以て、上述の 特つ度大な思想、概想、思かな情 第二章 ラルゲットを演奏する III大傑作の中でも最大たるものと 家鳴り震動がしたが、引き戸は れてゐる此の臨炭曲は、その寒曲中の三大傑作 大概楽献と共に、デルスゾーンのニ 心情へを必要とするのである。何 同七時四〇分 駆歌のおけ は、国より最も大切な要件である 仰。なほ左上限も上面も一場自地一か。或は三十五のすぐ左が、先づ一 四八時一〇分(大)二、味涤樂 角数輸入予度岩を辷りつ戦びつと、 一覧・「「南の財産の節を並み、「気」 周六時 ハーモニカ例炎 口精製し凡ゆる文化施設の整備せ **揪錐に繋がを加へて応々として通」れに答へて主郷の棋館的た蛇(郷を奏し、バスはこ英な砂網で流れてゆく、鰕は更に「たロンドの主郷を奏し、バスはこウナイオリンはソプラノで高く姫」既かず、提案は突然に活集に売ち** 化を目指す、俗に云へば蛟面の学「洒帯の布石だからである 孤な氣分に光ちてゐる、主題は先| つ伴奏が奏で、様しい様句を唱を一第二樂章の物解かな終結に休止を だ鬼分に売ちてある。主題は先 - 第三要章 ・ロンド・プレグロ | ねばならない、さらいふ時に進す約的とまで感ぜられる衰竭で在 | 柔らかく、彼やかに奏されてゆく | 常然範の目標となることを常悟せ 関家の重大時局に出して、統役 昨日の白二十六は、中央また左 那太德西中 医糊 譜棋 3 昨日の大繩張 れば近代科學版に於ては、 老巧の 茂牧水 演講 都會生活者 ないなら、白二十六は三十五の所 分類も取らう大観型。その目的で そこで否々の生活する原仁地方 京城府尹 【*三五】 覆面道人 長尾部隊の花 朝 事有る ときは、 |知つた敵は包閣 | 正に午後六時、夕応拠ゆる山上に 二人三脚死の傳令 みたい 高く掲げる日章旗、ある長尾中 た。と北海道の方に巧い手が昨日 あつて、即ち上面と中央も一寸白 朝鲜郵船川定期出帆 み、肉卵和りつ物すござ時こそ、 かを、私は皆さんと共に言 る発悟が果して出来てゐるかどう ねばならない、さらいふ時に成了 から復出し、この分で行けば、四 地化を測師した。氣味老巧の一手 コナ七の属上の三線でない四線に なるはたらきに重大任務! 雅舌を越え二身一體鬼神! そして本日の黒三十七は 残に 此際四線が好い 九十月十 、東京、海水、東京 十月九 里三十九の一手が千人力の如く。 自三十二以下四子の傾面を張脱攻行空三横編隊さなからに強化で、 の守黙であつた。それは黒三十三 である。か黒三十三の一手は鴨粉 でまた二十九の黒を加へた三手は しかし以下自四十二と成つて、 更に見二十九七三十一も好い手 67%



每一田帆、废作、宫田庄鹤城丸 住街丸 住街丸

黒K (S) と打たれて、黒二十七 の一手を見く治めるし、残に二十 (い) との間に相當県地も男

秋胃膓を丈夫に

案内所 平壌三中井 安東大和橋

新

否溫泉木

反重

カルい変がは 先づ月 でのんてから() ツルチュクを見ったが大喜び

直ぐ仁丹を常用して早急の御恢 は全く目的を沮害します。 肥る秋に惠まれながら胃膳の疾

が何よりも肝要です。

店 商 屋 見 丸 〇 國南・京京 舘木 B. 10

各家庭で必ず喜ばれる實用向御贈答

भवव

群を扱いて他の標準たる最上の品質

使用後の觸感

泡沫立